

学校コード F101110100065

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

注2

北見工業大学

大学院

工学研究科

工学専攻（博士前期課程）

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道国立大学機構

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

企画総務課

職名・氏名

カカリチョウ ヒサダ ミツグ  
係長 久田 貢

電話番号

0157-26-9114

（夜間）

0157-26-9114

e-mail

soumu09@desk.kitami-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、

当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 工学研究科

<工学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人北海道国立大学機構

## (2) 大学名

北見工業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒090-8507

北海道北見市公園町165番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	—	(ハセヤマ アキラ) 長谷山 彰 (令和4年4月)	法人統合により北海道国立大学機構が令和4年4月1日に設置されたことに伴う変更(4)
学長	(スズキ ヨウイチロウ) 鈴木 聡一郎 (平成30年4月)	—	—
研究科長	—	—	—
専攻長等	(ヤマシタ サトシ) 山下 聡 (令和3年4月)	(ミウラ ノリアキ) 三浦 則明 (令和4年4月)	組織体制の見直しに伴う変更(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学研究科 工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2 年	120 人	- 人	240 人	新規入学者を募集中	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	120	人	120	人	1.05倍	-	
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	136	4	148	-			
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	131	3	145	-			
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	130	3	142	-			
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	121	3	129	-			
入学定員超過率 B/A									1.03		1.07				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	121 [ 5 ] ( - )	3 [ 3 ] ( - )	129 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	119 [ 8 ] ( - )	3 [ 3 ] ( - )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4年次	/						/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )			124 [ 8 ] ( - )	251 [ 18 ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	124 人	2 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	2 人	0 人	就職(1人)、その他(1人)
令和4年度	251 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{124} = \boxed{1.61} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{251} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	機械電気工学プログラム	機械電気工学総合演習I	1通	2		6	9					
		機械電気工学総合演習II	1通	1		6	12					
		機械電気工学特別実験・研究	1前~2後	10		6	9					
	社会環境工学プログラム	社会環境工学総合演習I	1通	2		8	12					
		社会環境工学総合演習II	1通	1		8	13					
		社会環境工学特別実験・研究	1前~2後	10		8	12					
	情報通信工学プログラム	情報通信工学総合演習I	1通	2		12	9					
		情報通信工学総合演習II	1通	1		12	11					
		情報通信工学特別実験・研究	1前~2後	10		12	9					
	応用化学プログラム	応用化学総合演習I	1通	2		11	10					
		応用化学総合演習II	1通	1		11	11					
		応用化学特別実験・研究	1前~2後	10		11	10					
	プログラム共通	英語コミュニケーション	1①	1		1						
	ユニバーサルコース共通	ユニバーサルコースプロジェクトI	1前~2前	2		37	40					
		ユニバーサルコースプロジェクトII	1前~2前	2		37	40					
小計(15科目)			-	57		38	47	0	0	0		
選択必修科目	I 機械電気工学プログラム	Industry 4.0 特論I	1①	1	1	2						
		Industry 4.0 特論II	1②	1	1	2						
		再生可能エネルギーI	1①	1	2	1						
		再生可能エネルギーII	1②	1	2	1						
		エネルギー変換工学特論	1③	1	2							
		電気電子応用工学特論I	1①	1	1	1						
		電気電子応用工学特論II	1②	1	1	2						
		熱工学特論I	1①	1	2							
		熱工学特論II	1③	1	2							
		流体関連振動特論	1①	1	3							
		数値流体力学特論	1②	1	3							
		人工知能特論I	1③	1	2							
		人工知能特論II	1④	1	2							
		現代制御工学特論I	1③	1	1	1						
		現代制御工学特論II	1④	1	1	1						
		粘性流体力学特論	1③	1	3							
		計算力学特論I	1③	1	2							
		計算力学特論II	1④	1	2							
		分子機械特論I	1③	1	1	1						
		分子機械特論II	1④	1	1	1						
		工業材料学特論	1④	1	3							
	医療と工学I	1①	1	1								
	医療と工学II	1②	1	1								
	機械電気工学特別講義	1②	1	1								
	II 社会環境工学プログラム	コンクリート工学特論I	1③	1	1							
		コンクリート工学特論II	1④	1	1							
		構造工学特論I	1①	1	1							
		構造工学特論II	1②	1	1							
		寒地地圏工学特論I	1①	1	1	1						
		寒地地圏工学特論II	1②	1	1	1						
		地圏防災工学特論I	1③	1	1	1						
		地圏防災工学特論II	1④	1	1	1						
		水工学特論I	1①	1	1							
		水工学特論II	1②	1	1							
		水環境工学特論I	1②	1	1							
		水環境工学特論II	1③	1	1							
		交通システム特論I	1②	1	1							
		交通システム特論II	1③	1	1							
		雪氷ハイドレート環境特論I	1①	1	1							
		雪氷ハイドレート環境特論II	1①	1	1							
		雪氷ハイドレート環境特論III	1②	1	2							
		雪氷ハイドレート環境特論IV	1③	1	2							
雪氷ハイドレート環境特論V		1④	1	1								
防災工学システム特論		1④	1	3	2							
III 波動情報通信特論		波動情報通信特論I	1①	1	2	3						
	波動情報通信特論II	1②	1	2	3							
	波動情報通信特論III	1③	1	2	3							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	機械電気工学プログラム	機械電気工学総合演習I	1通	2		8	7				
		機械電気工学総合演習II	1通	1		8	9				
		機械電気工学特別実験・研究	1前~2後	10		8	7				
	社会環境工学プログラム	社会環境工学総合演習I	1通	2		12	7				
		社会環境工学総合演習II	1通	1		12	8				
		社会環境工学特別実験・研究	1前~2後	10		12	7				
	情報通信工学プログラム	情報通信工学総合演習I	1通	2		12	9				
		情報通信工学総合演習II	1通	1		12	11				
		情報通信工学特別実験・研究	1前~2後	10		12	9				
	応用化学プログラム	応用化学総合演習I	1通	2		14	7				
		応用化学総合演習II	1通	1		14	8				
		応用化学特別実験・研究	1前~2後	10		14	7				
	プログラム共通	英語コミュニケーション	1①	1		1					
	ユニバーサルコース共通	ユニバーサルコースプロジェクトI	1前~2前	2		46	30				
		ユニバーサルコースプロジェクトII	1前~2前	2		46	30				
小計(15科目)			-	57		47	37	0	0	0	
選択必修科目	I 機械電気工学プログラム	Industry 4.0 特論I	1①	1	3	0					
		Industry 4.0 特論II	1②	1	3	0					
		再生可能エネルギーI	1①	1	2	1					
		再生可能エネルギーII	1②	1	2	1					
		エネルギー変換工学特論	1③	1	2						
		電気電子応用工学特論I	1①	1	1	0					
		電気電子応用工学特論II	1②	1	1	1					
		熱工学特論I	1①	1	2						
		熱工学特論II	1③	1	2						
		流体関連振動特論	1①	1	3						
		数値流体力学特論	1②	1	3						
		人工知能特論I	1③	1	2						
		人工知能特論II	1④	1	2						
		現代制御工学特論I	1③	1	1	2					
		現代制御工学特論II	1④	1	1	2					
		粘性流体力学特論	1③	1	3						
		計算力学特論I	1③	1	2	1					
		計算力学特論II	1④	1	2	1					
		分子機械特論I	1③	1	1	1					
		分子機械特論II	1④	1	1	1					
		工業材料学特論	1④	1	3	1					
	医療と工学I	1①	1	1							
	医療と工学II	1②	1	1							
	機械電気工学特別講義	1②	1	1							
	II 社会環境工学プログラム	コンクリート工学特論I	1③	1	1	0					
		コンクリート工学特論II	1④	1	1						
		構造工学特論I	1①	1	1	0					
		構造工学特論II	1②	1	1	0					
		寒地地圏工学特論I	1①	1	1	0					
		寒地地圏工学特論II	1②	1	1	0					
		地圏防災工学特論I	1③	1	1	0					
		地圏防災工学特論II	1④	1	1	0					
		水工学特論I	1①	1	1						
		水工学特論II	1②	1	1						
		水環境工学特論I	1②	1	1	0					
		水環境工学特論II	1③	1	1	1					
		交通システム特論I	1②	1	1						
		交通システム特論II	1③	1	1						
		雪氷ハイドレート環境特論I	1①	1	1						
		雪氷ハイドレート環境特論II	1①	1	1						
		雪氷ハイドレート環境特論III	1②	1	2	1					
		雪氷ハイドレート環境特論IV	1③	1	2						
雪氷ハイドレート環境特論V		1④	1	1							
防災工学システム特論		1④	1	4	1						
III 波動情報通信特論		波動情報通信特論I	1①	1	2	3					
	波動情報通信特論II	1②	1	2	3						
	波動情報通信特論III	1③	1	2	3						







科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
語学系 科目	総合英語	1③		1		1	2						
	資格英語	1期~2後		1									
	フ ロ グ ラ ム 共 通 科 目	人間学特論A	1④		1			1					
		人間学特論B	1④		1			1					
		人間学特論C	1④		1			1					
		人間学特論D	1④		1			1					
		技術者倫理特論	1④		1			1					
インターンシップ	1期~2後		1		37	40							
小計(105科目)	-	0	105	0	42	53	0	0	0				
合計(207科目)	-	57	192	0	42	53	0	0	0				

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
語学系 科目	総合英語	1③		1		2	3						
	資格英語	1期~2後		1									
	フ ロ グ ラ ム 共 通 科 目	人間学特論A	1④		1			1					
		人間学特論B	1④		1			1					
		人間学特論C	1④		1			1					
		人間学特論D	1④		1			1	1				
		技術者倫理特論	1④		1			1					
インターンシップ	1期~2後		1		46	30							
小計(105科目)	-	0	105	0	53	44	0	0	0				
合計(207科目)	-	57	192	0	53	44	0	0	0				



【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	機械電気工学プログラム	機械電気工学総合演習I	1通	2		6	9					
		機械電気工学総合演習II	1通	1		6	12					
		機械電気工学特別実験・研究	1前~2後	10		6	9					
	社会環境工学プログラム	社会環境工学総合演習I	1通	2		10	10					
		社会環境工学総合演習II	1通	1		10	11					
		社会環境工学特別実験・研究	1前~2後	10		10	10					
	情報通信工学プログラム	情報通信工学総合演習I	1通	2		12	9					
		情報通信工学総合演習II	1通	1		12	11					
		情報通信工学特別実験・研究	1前~2後	10		12	9					
	応用化学プログラム	応用化学総合演習I	1通	2		14	7					
		応用化学総合演習II	1通	1		14	8					
		応用化学特別実験・研究	1前~2後	10		14	7					
	プログラム共通	英語コミュニケーション	1①	1		1						
	ユニバーサルコース共通	ユニバーサルコースプロジェクト	1前~2前	2		42	35					
		ユニバーサルコースプロジェクトII	1前~2前	2		42	35					
	小計(15科目)	-	57		43	42	0	0	0			
選択必修科目	I 機械電気工学プログラム	Industry 4.0 特論I	1①	1		1	2					
		Industry 4.0 特論II	1②	1		1	2					
		再生可能エネルギーI	1①	1		2	1					
		再生可能エネルギーII	1③	1		2	1					
		エネルギー変換工学特論	1②	1			2					
		電気電子応用工学特論I	1①	1		1	1					
		電気電子応用工学特論II	1②	1		1	2					
		熱工学特論I	1①	1		2						
		熱工学特論II	1③	1		2						
		流体関連振動特論	1①	1			3					
		数値流体力学特論	1②	1			3					
		人工知能特論I	1③	1		2						
		人工知能特論II	1④	1		2						
		現代制御工学特論I	1③	1		1	1					
		現代制御工学特論II	1④	1		1	1					
		粘性流体力学特論	1③	1			3					
		計算力学特論I	1③	1			2					
		計算力学特論II	1④	1			2					
		分子機械特論I	1③	1		1	1					
		分子機械特論II	1④	1		1	1					
	工業材料学特論	1④	1		1	3						
	医療と工学I	1①	1		1							
	医療と工学II	1②	1		1							
	機械電気工学特別講義	1②	1		1							
	社会環境工学プログラム	コンクリート工学特論I	1③	1		1	0					
		コンクリート工学特論II	1④	1		1						
		構造工学特論I	1①	1		1						
		構造工学特論II	1②	1		1						
		寒地地圏工学特論I	1①	1		1	1					
		寒地地圏工学特論II	1②	1		1	1					
		地圏防災工学特論I	1③	1		1	1					
		地圏防災工学特論II	1④	1		1	1					
		水工学特論I	1①	1		1						
		水工学特論II	1②	1		1						
		水環境工学特論I	1②	1		1	0					
		水環境工学特論II	1③	1		1	1					
		交通システム特論I	1②	1		1						
		交通システム特論II	1③	1		1						
		雪氷ハイドレイト環境特論I	1①	1		1						
		雪氷ハイドレイト環境特論II	1①	1		1						
		雪氷ハイドレイト環境特論III	1②	1		2						
		雪氷ハイドレイト環境特論IV	1③	1		2						
	雪氷ハイドレイト環境特論V	1④	1		1							
	防災工学システム特論	1④	1		3	2						
	情報通信工学プログラム	波動情報通信特論I	1①	1		2	3					
		波動情報通信特論II	1②	1		2	3					
		波動情報通信特論III	1③	1		2	3					
		波動情報通信特論IV	1④	1		2	3					
		知的システム設計特論I	1①	1		2	2					
		知的システム設計特論II	1②	1		2	2					
知的システム設計特論III		1③	1		2	2						
知的システム設計特論IV		1④	1		2	2						
データサイエンス特論III		1③	1		3	1						
データサイエンス特論IV		1④	1		3	1						
情報光学特論I		1①	1		3	3						

科目 区分	授業科目の名称	記 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
I	グ ラ ム	情報光学特論II	1②	1		3	3						
		情報光学特論III	1③	1		3	3						
		情報光学特論IV	1④	1		3	3						
		情報数理特論I	1①	1		1	2						
		情報数理特論II	1②	1		1	2						
		情報数理特論III	1③	1		1	2						
		情報数理特論IV	1④	1		1	2						
		情報通信工学特別講義	1後	1			1						
	応 用 化 学 ブ ロ グ ラ ム	有機材料特論I	1①	1		1							
		有機材料特論II	1②	1			1						
		有機材料特論III	1③	1		1							
		有機材料特論IV	1④	1		1							
		有機材料特論V	1④	1		1							
		無機材料特論I	1①	1		1							
		無機材料特論II	1②	1		1							
		無機材料特論III	1③	1		1							
		無機材料特論IV	1④	1		1	0						
		物性科学特論I	1①	1		1							
		物性科学特論II	1②	1		1							
		物性科学特論III	1③	1			1						
		物性科学特論IV	1④	1			1						
		物性科学特論V	1④	1			1						
		生命科学特論I	1①	1		1							
		生命科学特論II	1②	1		1							
		生命科学特論III	1③	1		1	1						
		生命科学特論IV	1④	1		1	0						
		生物環境科学特論I	1①	1		1							
		生物環境科学特論II	1②	1		1	0						
	生物環境科学特論III	1③	1		2	1							
	生物環境科学特論IV	1④	1		1								
	応用化学特別講義	1後	1			1							
	プログラム共通	海外特別研修	1前~2後				42	35					
		小計(87科目)	-		87		43	44	0	0	0		
	II	他 専 修 及 び 学 際 工 学 に 関 す る 科 目	A	Industry 4.0 特論I	1①	1		1	2				
				Industry 4.0 特論II	1②	1		1	2				
				再生可能エネルギーI	1①	1		2	1				
				再生可能エネルギーII	1③	1		2	1				
				エネルギー変換工学特論	1②	1			2				
				電気電子応用工学特論I	1①	1		1	1				
				電気電子応用工学特論II	1②	1		1	2				
				熱工学特論I	1①	1		2					
				熱工学特論II	1③	1		2					
流体関連振動特論				1①	1			3					
数値流体力学特論				1②	1			3					
人工知能特論I				1③	1			2					
人工知能特論II				1④	1			2					
現代制御工学特論I				1③	1		1	1					
現代制御工学特論II			1④	1		1	1						
粘性流体力学特論			1③	1			3						
計算力学特論I			1③	1			2						
計算力学特論II			1④	1			2						
分子機械特論I			1③	1		1	1						
分子機械特論II			1④	1		1	1						
工業材料学特論			1④	1		1	3						
医療と工学I			1①	1		1							
医療と工学II			1②	1		1							
機械電気工学特別講義			1②	1		1							
B			コンクリート工学特論I	1③	1		1	0					
			コンクリート工学特論II	1④	1			1					
			構造工学特論I	1①	1		1						
			構造工学特論II	1②	1		1						
		寒地地圏工学特論I	1①	1		1	1						
		寒地地圏工学特論II	1②	1		1	1						
	地圏防災工学特論I	1③	1		1	1							
	地圏防災工学特論II	1④	1		1	1							
	水工学特論I	1①	1		1								
	水工学特論II	1②	1		1								
	水環境工学特論I	1②	1		1	0							

科目区分	授業科目の名称	記年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
C	水環境工学特論II	1③		1		1	1					
	交通システム特論I	1②		1		1						
	交通システム特論II	1③		1			1					
	雪氷ハイドレート環境特論I	1①		1		1						
	雪氷ハイドレート環境特論II	1①		1			1					
	雪氷ハイドレート環境特論III	1②		1		2						
	雪氷ハイドレート環境特論IV	1③		1			2					
	雪氷ハイドレート環境特論V	1④		1			1					
	防災工学システム特論	1④		1		3	2					
	波動情報通信特論I	1①		1		2	3					
	波動情報通信特論II	1②		1		2	3					
	波動情報通信特論III	1③		1		2	3					
	波動情報通信特論IV	1④		1		2	3					
	知的システム設計特論I	1①		1		2	2					
	知的システム設計特論II	1②		1		2	2					
	知的システム設計特論III	1③		1		2	2					
	知的システム設計特論IV	1④		1		2	2					
	データサイエンス特論III	1③		1		3	1					
	データサイエンス特論IV	1④		1		3	1					
情報光学特論I	1①		1		3	3						
情報光学特論II	1②		1		3	3						
情報光学特論III	1③		1		3	3						
情報光学特論IV	1④		1		3	3						
情報数理特論I	1①		1		1	2						
情報数理特論II	1②		1		1	2						
情報数理特論III	1③		1		1	2						
情報数理特論IV	1④		1		1	2						
情報通信工学特別講義	1後		1		1							
D	有機材料特論I	1①		1		1						
	有機材料特論II	1②		1			1					
	有機材料特論III	1③		1		1						
	有機材料特論IV	1④		1			1					
	有機材料特論V	1④		1			1					
	無機材料特論I	1①		1		1						
	無機材料特論II	1②		1		1						
	無機材料特論III	1③		1		1						
	無機材料特論IV	1④		1		1	0					
	物性科学特論I	1①		1		1						
	物性科学特論II	1②		1		1						
	物性科学特論III	1③		1			1					
	物性科学特論IV	1④		1			1					
	物性科学特論V	1④		1			1					
	生命科学特論I	1①		1		1						
	生命科学特論II	1②		1		1						
	生命科学特論III	1③		1		1	1					
	生命科学特論IV	1④		1		1	0					
	生物環境科学特論I	1①		1		1	0					
	生物環境科学特論II	1②		1		1	0					
生物環境科学特論III	1③		1		2	1						
生物環境科学特論IV	1④		1		1							
応用化学特別講義	1後		1		1							
学際工学特論	1通		1		42	35						
データサイエンス系科目	a データサイエンス総論I	1①		1		4						
	b データサイエンス総論II	1③		1		2						
	c 情報セキュリティ特論	1②		1		3	1					
	データサイエンス特論I	1①		1		3	1					
	データサイエンス特論II	1②		1		3	2					
データサイエンス特論演習	1後		1		4	1						
マネジメント系科目	研究・開発マネジメント学特論I	1①		1		1	0					
	研究・開発マネジメント学特論II	1②		1		1	0					
	医療技術マネジメント論I	1③		1		2						
	医療技術マネジメント論II	1④		1		2						
語学系科目	総合英語	1③		1		2	2					
	資格英語	1期~2後		1								
プログラム共通科目	人間学特論A	1④		1			1					
	人間学特論B	1④		1		1						
	人間学特論C	1④		1			1					
	人間学特論D	1④		1		1						
	技術者倫理特論	1④		1			1					
	インターンシップ	1期~2後		1		42	35					

科目 区分	授業科目の名称	記 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
	小計(105科目)	-	0	105	0	49	49	0	0	0	
	合計(207科目)	-	57	192	0	49	49	0	0	0	

卒業要件及び履修方法

<p>&lt;機械電気学プログラム&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目14単位(機械電気学プログラム13単位、プログラム共通1単位)、選択必修科目16単位以上(うち、区分Iの機械電気学プログラム及びプログラム共通から6単位以上、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目(Aを除く)から2単位以上、数理データサイエンス系科目(a及びb)から2単位以上、マネジメント系科目から1単位以上、語学系科目から1単位以上、人社会及び各専修プログラム共通科目から1単位以上)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>	1学年の 学期区分	4学期
<p>&lt;機械電気学プログラムユニバーサルコース&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目18単位(機械電気学プログラム13単位、プログラム共通1単位、ユニバーサルコース共通4単位)、選択必修科目12単位以上(うち、区分Iの機械電気学プログラム及びプログラム共通から6単位以上。ただし、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目A、数理データサイエンス系科目c、語学系科目及び人社会及び各専修プログラム共通科目を除く)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>		
<p>&lt;社会環境工学プログラム&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目14単位(社会環境工学プログラム13単位、プログラム共通1単位)選択必修科目16単位以上(うち、区分Iの社会環境工学プログラム及びプログラム共通から6単位以上、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目(Bを除く)から2単位以上、数理データサイエンス系科目(a及びb)から2単位以上、マネジメント系科目から1単位以上、語学系科目から1単位以上、人社会及び各専修プログラム共通科目から1単位以上)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>	1学期の 授業期間	7.5週
<p>&lt;社会環境工学プログラムユニバーサルコース&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目18単位(社会環境工学プログラム13単位、プログラム共通1単位、ユニバーサルコース共通4単位)、選択必修科目12単位以上(うち、区分Iの社会環境工学プログラム及びプログラム共通から6単位以上。ただし、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目B、数理データサイエンス系科目c、語学系科目及び人社会及び各専修プログラム共通科目を除く)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>		
<p>&lt;情報通信工学プログラム&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目14単位(情報通信工学プログラム13単位、プログラム共通1単位)選択必修科目16単位以上(うち、区分Iの情報通信工学プログラム及びプログラム共通から6単位以上、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目(Cを除く)から2単位以上、数理データサイエンス系科目(b及びc)から2単位以上、マネジメント系科目から1単位以上、語学系科目から1単位以上、人社会及び各専修プログラム共通科目から1単位以上)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>	1時限の 授業時間	90分
<p>&lt;情報通信工学プログラムユニバーサルコース&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目18単位(情報通信工学プログラム13単位、プログラム共通1単位、ユニバーサルコース共通4単位)、選択必修科目12単位以上(うち、区分Iの情報通信工学プログラム及びプログラム共通から6単位以上。ただし、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目C、数理データサイエンス系科目a、語学系科目及び人社会及び各専修プログラム共通科目を除く)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>		
<p>&lt;応用化学プログラム&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目14単位(応用化学プログラム13単位、プログラム共通1単位)、選択必修科目16単位以上(うち、区分Iの応用化学プログラム及びプログラム共通から6単位以上、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目(Dを除く)から2単位以上、数理データサイエンス系科目(a及びb)から2単位以上、マネジメント系科目から1単位以上、語学系科目から1単位以上、人社会及び各専修プログラム共通科目から1単位以上)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>		
<p>&lt;応用化学プログラムユニバーサルコース&gt; 当該課程に2年以上在学し、必修科目18単位(応用化学プログラム13単位、プログラム共通1単位、ユニバーサルコース共通4単位)、選択必修科目12単位以上(うち、区分Iの応用化学プログラム及びプログラム共通から6単位以上。ただし、区分IIの他専修及び学際工学に関する科目D、数理データサイエンス系科目c、語学系科目及び人社会及び各専修プログラム共通科目を除く)、合計で30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、すぐれた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p>		

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**大学の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「社会環境工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授10」に変更、「准教授12」から「准教授10」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「社会環境工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授10」に変更、「准教授13」から「准教授11」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「社会環境工学特別実験・研究」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授10」に変更、「准教授12」から「准教授10」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「応用化学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授14」に変更、「准教授10」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「応用化学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授14」に変更、「准教授11」から「准教授8」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「応用化学特別実験・研究」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授14」に変更、「准教授10」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「ユニバーサルコースプロジェクトⅠ」「ユニバーサルコースプロジェクトⅡ」「学際工学特論」の専任教員等の配置を「教授37」から「教授42」に変更、「准教授40」から「准教授35」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「コンクリート工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「水環境工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「無機材料特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「生命科学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「生物環境科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「研究・開発マネジメント特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により「研究・開発マネジメント特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員就任の理由により「総合英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員就任の理由により「水環境工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員就任の理由により「生命科学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

【令和4年度】

- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「機械電気工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授8」に変更、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「機械電気工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授8」に変更、「准教授12」から「准教授9」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「機械電気工学特別実験・研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授8」に変更、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「社会環境工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授12」に変更、「准教授10」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「社会環境工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授12」に変更、「准教授11」から「准教授8」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「社会環境工学特別実験・研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授12」に変更、「准教授10」から「准教授7」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「ユニバーサルコースプロジェクトⅠ」「ユニバーサルコースプロジェクトⅡ」の専任教員等の配置を「教授42」から「教授46」に変更、「准教授35」から「准教授30」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「Industry 4.0 特論Ⅰ」「Industry 4.0 特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更、「准教授2」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員辞職の理由により、「電気電子応用工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員辞職の理由により、「電気電子応用工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員就任の理由により、「現代制御工学特論Ⅰ」「現代制御工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員就任の理由により、「計算力学特論Ⅰ」「計算力学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に変更、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「工業材料学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更、「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「構造工学特論Ⅰ」「構造工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「寒地地圏工学特論Ⅰ」「寒地地圏工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員辞職の理由により、「地図防災工学特論Ⅰ」「地図防災工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員就任の理由により、「雪氷ハイドレート環境特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更の理由により、「防災工学システム特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員就任の理由により、「応用化学特別講義」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「海外特別研修」の専任教員等の配置を「教授42」から「教授46」に変更、「准教授35」から「准教授30」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「学際工学特論」の専任教員等の配置を「教授42」から「教授46」に変更、「准教授35」から「准教授30」に変更。
- ・担当教員就任の理由により、「総合英語」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員就任の理由により、「人間学特論D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任による職名変更及び担当教員辞職の理由により、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授42」から「教授46」に変更、「准教授35」から「准教授30」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	192 科目	0 科目	207 科目	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{207} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 ※計上対象区域見直しのため(4)		
	校舎敷地	449,881 443,793㎡	0㎡	0㎡	449,881 443,793㎡			
	運動場用地	36,176㎡	0㎡	0㎡	36,176㎡			
	小 計	486,057 479,969㎡	0㎡	0㎡	486,057 479,969㎡			
	そ の 他	418㎡	0㎡	0㎡	418㎡			
	合 計	486,475 480,387㎡	0㎡	0㎡	486,475 480,387㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	(61,127㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(61,127㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 ※施設利用方法に変更が生じたため(3) ※施設利用方法に変更が生じたため(4)		
	26室	15 19室	307 308 296室	4室 (補助職員 0人)	0 4室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体 ※教員の異動及び計上対象施設見直しのため(4)		
	工学研究科工学専攻(博士前期課程)		107 95 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	大学全体 図書・学術雑誌・視聴覚資料：新規購入・除去のため、電子ジャーナル：契約タイトル数変更のため(4)	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種					電子ジャーナル〔うち外国書〕
	工学研究科工学専攻	179,812 [42,615] 185,300 [42,800] (179,812 [42,615]) (185,300 [42,800])	8,746 [6,708] 8,600 [6,100] (8,746 [6,708]) (8,600 [6,100])	5,420 [5,420] 4,800 [4,800] (5,420 [5,420]) (4,800 [4,800])	3,047 4,100 (3,047) (4,100)	0 (0)		0 (0)
	計	179,812 [42,615] 185,300 [42,800] (179,812 [42,615]) (185,300 [42,800])	8,746 [6,708] 8,600 [6,100] (8,746 [6,708]) (8,600 [6,100])	5,420 [5,420] 4,800 [4,800] (5,420 [5,420]) (4,800 [4,800])	3,047 4,100 (3,047) (4,100)	0 (0)		0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 ※集計方法の変更(3)		
	2,908㎡		418	189,972 189,975				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	2,366㎡		武道場、弓道場、陸上競技場、野球場、テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	北見工業大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部						1.00	1.00				
地球環境工学科	4	190	3年次5	770	学士(工学)	1.01	1.01	-	平成29	北海道北見市公園町166番地	
地域未来デザイン工学科	4	220	3年次5	890	学士(工学)	1.00	1.00	-	平成29	同上	
大学全体	-	410	10	1660	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	北見工業大学大学院						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<u>工学研究科</u>											
<u>工学専攻(博士前期課程)</u>	2	120	0	240	修士(工学)	1.05	1.07	-	令和3	北海道北見市公園町165番地	
生産基盤工学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(工学)	1.77	1.33	-	平成22	北海道北見市公園町165番地	
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(工学)	1.22	0.66	-	平成22	同上	
医療工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(工学)	0.83	1.00	-	平成22	同上	
大学院全体	-	128	-	264	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

### (1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウラ, シャリフ (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 工業材料学特論
専	教授	小原 伸哉 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ
専	教授	武山(板東) 眞弓 (54) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ 電気電子応用工学特論Ⅰ 電気電子応用工学特論Ⅱ
専	教授	林田 和宏 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウラ, シャリフ (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 工業材料学特論
専	教授	小原 伸哉 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ
専	教授	武山(板東) 眞弓 (54) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ 電気電子応用工学特論Ⅰ 電気電子応用工学特論Ⅱ
専	教授	林田 和宏 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウラ, シャリフ (53) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 工業材料学特論
専	教授	小原 伸哉 (57) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ
専	教授	武山(板東) 眞弓 (55) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ 電気電子応用工学特論Ⅰ 電気電子応用工学特論Ⅱ
専	教授	林田 和宏 (47) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	森田 慎一 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	森田 慎一 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	森田 慎一 (55) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅱ
専	教授	星野 洋平 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	星野 洋平 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	星野 洋平 (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ 機械電気工学特別講義 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ 現代制御工学特論Ⅲ 機械電気工学特別講義 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ 現代制御工学特論Ⅲ 機械電気工学特別講義 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ
専	教授	奥村 貴史 (44) <令和3年4月> Ph.D(アメリカ)	専	教授	奥村 貴史 (44) <令和3年4月> Ph.D(アメリカ)	専	教授	奥村 貴史 (45) <令和3年4月> Ph.D(アメリカ)
		医療と工学Ⅰ 医療と工学Ⅱ 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ			医療と工学Ⅰ 医療と工学Ⅱ 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ			医療と工学Ⅰ 医療と工学Ⅱ 医療技術マネジメント論Ⅰ 医療技術マネジメント論Ⅱ
専	教授	川口 貴之 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	川口 貴之 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	川口 貴之 (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ 防災工学システム特論
専	教授	山下 聡 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	山下 聡 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	山下 聡 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 地圏防災工学特論Ⅰ 地圏防災工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 地圏防災工学特論Ⅰ 地圏防災工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 地圏防災工学特論Ⅰ 地圏防災工学特論Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	渡邊 康玄 (61) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	渡邊 康玄 (61) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	渡邊 康玄 (62) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅱ 防災工学システム特論
専	教授	早川 博 (63) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	早川 博 (63) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	早川 博 (64) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅱ
専	教授	高橋 清 (58) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	高橋 清 (58) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	高橋 清 (59) <令和3年4月> 工学博士
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 交通システム特論Ⅰ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 交通システム特論Ⅰ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 交通システム特論Ⅰ 防災工学システム特論
専	教授	亀田 貴雄 (57) <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	亀田 貴雄 (57) <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	亀田 貴雄 (58) <令和3年4月> 博士(理学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅰ
専	教授	南 尚嗣 (56) <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	南 尚嗣 (56) <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	南 尚嗣 (57) <令和3年4月> 博士(理学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅲ 生物環境科学特論Ⅲ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅲ 生物環境科学特論Ⅲ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 雪氷ハイドレート環境特論Ⅲ 生物環境科学特論Ⅲ





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	平山 浩一 (59) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	平山 浩一 (59) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	平山 浩一 (60) <令和3年4月> 工学博士
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 波動情報通信特論Ⅰ 波動情報通信特論Ⅱ 波動情報通信特論Ⅲ 波動情報通信特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 波動情報通信特論Ⅰ 波動情報通信特論Ⅱ 波動情報通信特論Ⅲ 波動情報通信特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 波動情報通信特論Ⅰ 波動情報通信特論Ⅱ 波動情報通信特論Ⅲ 波動情報通信特論Ⅳ
専	教授	柏 達也 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	柏 達也 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	柏 達也 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論
専	教授	鈴木 正清 (62) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	鈴木 正清 (62) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	鈴木 正清 (63) <令和3年4月> 工学博士
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 知的システム設計特論Ⅰ 知的システム設計特論Ⅱ 知的システム設計特論Ⅲ 知的システム設計特論Ⅳ 情報通信工学特別講義			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 知的システム設計特論Ⅰ 知的システム設計特論Ⅱ 知的システム設計特論Ⅲ 知的システム設計特論Ⅳ 情報通信工学特別講義			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 知的システム設計特論Ⅰ 知的システム設計特論Ⅱ 知的システム設計特論Ⅲ 知的システム設計特論Ⅳ 情報通信工学特別講義
専	教授	黒河 賢二 (58) <令和3年4月> 論文博士(理学)	専	教授	黒河 賢二 (58) <令和3年4月> 論文博士(理学)	専	教授	黒河 賢二 (59) <令和3年4月> 論文博士(理学)
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大野 智也 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	大野 智也 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	大野 智也 (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 無機材料特論ⅢⅠ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 無機材料特論ⅢⅠ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 無機材料特論ⅢⅠ
専	教授	阿部 良夫 (63) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	阿部 良夫 (63) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	阿部 良夫 (64) <令和3年4月> 工学博士
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅰ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅰ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅰ
専	教授	松田 剛 (61) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	松田 剛 (61) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	松田 剛 (62) <令和3年4月> 工学博士
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅱ 応用化学特別講義			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅱ 応用化学特別講義			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅱ 応用化学特別講義
専	教授	新井 博文 (52) <令和3年4月> 博士(水産学)	専	教授	新井 博文 (52) <令和3年4月> 博士(水産学)	専	教授	新井 博文 (53) <令和3年4月> 博士(水産学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅰ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅰ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅰ
専	教授	大津 直史 (49) <令和3年4月> 論文博士(学術)	専	教授	大津 直史 (49) <令和3年4月> 論文博士(学術)	専	教授	大津 直史 (50) <令和3年4月> 論文博士(学術)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅱ 生物環境科学特論ⅢⅠ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅱ 生物環境科学特論ⅢⅠ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅱ 生物環境科学特論ⅢⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小西 正朗 (44) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅲ
専	教授	齋藤 徹 (61) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅰ
専	教授	伊関 敏之 (61) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		総合英語
専	教授	本間 圭一 (53) <令和3年4月> DEA (PROSPECTIVE INTERNATIONALE) (フランス)
		英語コミュニケーション
専	教授	野田 由美意 (49) <令和3年4月> 博士(文学)
		人間学特論B
専	教授	柳 等 (57) <令和3年4月> 修士(体育学)
		人間学特論D
専	准教授	佐藤 満弘 (60) <令和3年4月> 論文博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小西 正朗 (44) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅲ
専	教授	齋藤 徹 (61) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅰ
専	教授	伊関 敏之 (61) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		総合英語
専	教授	本間 圭一 (53) <令和3年4月> DEA (PROSPECTIVE INTERNATIONALE) (フランス)
		英語コミュニケーション
専	教授	野田 由美意 (49) <令和3年4月> 博士(文学)
		人間学特論B
専	教授	柳 等 (57) <令和3年4月> 修士(体育学)
		人間学特論D
専	准教授	佐藤 満弘 (60) <令和3年4月> 論文博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小西 正朗 (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅲ
専	教授	齋藤 徹 (62) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅰ
専	教授	伊関 敏之 (62) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		総合英語
専	教授	本間 圭一 (54) <令和3年4月> DEA (PROSPECTIVE INTERNATIONALE) (フランス)
		英語コミュニケーション
専	教授	野田 由美意 (50) <令和3年4月> 博士(文学)
		人間学特論B
専	教授	柳 等 (58) <令和3年4月> 修士(体育学)
		人間学特論D
専	教授	佐藤 満弘 (61) <令和3年4月> 論文博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉田 裕 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	吉田 裕 (44) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	吉田 裕 (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 Industry 4.0 特論Ⅰ Industry 4.0 特論Ⅱ 計算力学特論Ⅰ 計算力学特論Ⅱ 工業材料学特論
専	准教授	高橋 理音 (45) <令和3年4月> 論文博士(工学)	専	准教授	高橋 理音 (45) <令和3年4月> 論文博士(工学)	専	准教授	高橋 理音 (46) <令和3年4月> 論文博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅱ 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ エネルギー変換工学特論			機械電気工学総合演習Ⅱ 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ エネルギー変換工学特論			機械電気工学総合演習Ⅱ 再生可能エネルギーⅠ 再生可能エネルギーⅡ エネルギー変換工学特論
専	准教授	佐藤 勝 (40) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	佐藤 勝 (40) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	佐藤 勝 (41) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 エネルギー変換工学特論 電気電子応用工学特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 エネルギー変換工学特論 電気電子応用工学特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 エネルギー変換工学特論 電気電子応用工学特論Ⅱ
専	准教授	橋本 泰成 (37) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	橋本 泰成 (37) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	
		機械電気工学総合演習Ⅱ 電気電子応用工学特論Ⅰ 電気電子応用工学特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅱ 電気電子応用工学特論Ⅰ 電気電子応用工学特論Ⅱ			
専	准教授	高井 和紀 (50) <令和3年4月> 論文博士(工学)	専	准教授	高井 和紀 (50) <令和3年4月> 論文博士(工学)	専	准教授	高井 和紀 (51) <令和3年4月> 論文博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	松村 昌典 (62) <令和3年4月> 工学博士	専	准教授	松村 昌典 (62) <令和3年4月> 工学博士	専	准教授	松村 昌典 (63) <令和3年4月> 工学博士
		機械電気工学総合演習II 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習II 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習II 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論
専	准教授	三戸 陽一 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	三戸 陽一 (54) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	三戸 陽一 (55) <令和3年4月> 博士(工学)
		機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論			機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 流体関連振動特論 数値流体力学特論 粘性流体力学特論
						専	准教授	河野 義樹 (41) <令和4年4月> 博士(工学)
								計算力学特論I 計算力学録論II
						専	准教授	ラワンカル・アビジット (38) <令和4年4月> 博士(工学)
								現代制御工学特論I 現代制御工学特論II
専	准教授	早川 吉彦 (62) <令和3年4月> 論文博士(歯学)	専	准教授	早川 吉彦 (62) <令和3年4月> 論文博士(歯学)	専	准教授	早川 吉彦 (63) <令和3年4月> 論文博士(歯学)
		機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 人工知能特論I 人工知能特論II			機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 人工知能特論I 人工知能特論II			機械電気工学総合演習I 機械電気工学総合演習II 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 人工知能特論I 人工知能特論II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鈴木 育男 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	鈴木 育男 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	鈴木 育男 (48) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 人工知能特論Ⅰ 人工知能特論Ⅱ 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 人工知能特論Ⅰ 人工知能特論Ⅱ 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅱ			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 人工知能特論Ⅰ 人工知能特論Ⅱ 現代制御工学特論Ⅰ 現代制御工学特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅱ
専	准教授	兼清 泰正 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	兼清 泰正 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	兼清 泰正 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ 工業材料学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ 工業材料学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 分子機械特論Ⅰ 分子機械特論Ⅱ 工業材料学特論
専	准教授	梅村 敦史 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	梅村 敦史 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	梅村 敦史 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論			機械電気工学総合演習Ⅰ 機械電気工学総合演習Ⅱ 機械電気工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論
専	准教授	井上 真澄 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	教授	井上 真澄 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	教授	井上 真澄 (46) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅰ
専	准教授	崔 希燮 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	崔 希燮 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	崔 希燮 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 コンクリート工学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	宮森 保紀 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	宮森 保紀 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	教授	宮森 保紀 (46) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 構造工学特論Ⅰ 構造工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 構造工学特論Ⅰ 構造工学特論Ⅱ 防災工学システム特論			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 構造工学特論Ⅰ 構造工学特論Ⅱ 防災工学システム特論
専	准教授	中村 大 (45) ＜令和3年4月＞ 論文博士(工学)	専	准教授	中村 大 (45) ＜令和3年4月＞ 論文博士(工学)	専	教授	中村 大 (46) ＜令和3年4月＞ 論文博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 寒地地圏工学特論Ⅰ 寒地地圏工学特論Ⅱ
専	准教授	川尻 峻三 (36) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	川尻 峻三 (36) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 地圏防災工学特論Ⅰ 地圏防災工学特論Ⅱ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 地圏防災工学特論Ⅰ 地圏防災工学特論Ⅱ			
専	准教授	吉川 泰弘 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	吉川 泰弘 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	吉川 泰弘 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水工学特論Ⅰ
専	准教授	駒井 克昭 (46) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	教授	駒井 克昭 (46) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	専	教授	駒井 克昭 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅰ			社会環境工学総合演習Ⅰ 社会環境工学総合演習Ⅱ 社会環境工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 水環境工学特論Ⅰ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齊藤 剛彦 (37) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習II
専	准教授	安井 崇 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	田口 健治 (42) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	杉坂 純一郎 (38) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齊藤 剛彦 (37) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習II
専	准教授	白井 秀和 (37) <令和3年4月> 博士(工学)
		水環境工学特論II
専	准教授	安井 崇 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	田口 健治 (42) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	杉坂 純一郎 (38) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齊藤 剛彦 (38) <令和3年4月> 博士(工学)
		社会環境工学総合演習II
専	准教授	白井 秀和 (38) <令和3年4月> 博士(工学)
		水環境工学特論II
専	准教授	木田 真人 (43) <令和4年4月> 博士(工学)
		雪氷ハイドレート環境特論III
専	准教授	安井 崇 (47) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	田口 健治 (43) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV
専	准教授	杉坂 純一郎 (39) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習I 情報通信工学総合演習II 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトI ユニバーサルコースプロジェクトII 学際工学特論 波動情報通信特論I 波動情報通信特論II 波動情報通信特論III 波動情報通信特論IV



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	酒井 大輔 (39) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	酒井 大輔 (39) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	酒井 大輔 (40) <令和3年4月> 博士(工学)
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報光学特論Ⅰ 情報光学特論Ⅱ 情報光学特論Ⅲ 情報光学特論Ⅳ
専	准教授	蒲谷 祐一 (40) <令和3年4月> 博士(理学)	専	准教授	蒲谷 祐一 (40) <令和3年4月> 博士(理学)	専	准教授	蒲谷 祐一 (41) <令和3年4月> 博士(理学)
		情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ
専	准教授	松田 一徳 (37) <令和3年4月> 博士(数理学)	専	准教授	松田 一徳 (37) <令和3年4月> 博士(数理学)	専	准教授	松田 一徳 (38) <令和3年4月> 博士(数理学)
		情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ			情報通信工学総合演習Ⅱ 情報数理特論Ⅰ 情報数理特論Ⅱ 情報数理特論Ⅲ 情報数理特論Ⅳ
専	准教授	ブ'タシキ ミウ'イト'ムト' (39) <令和3年4月> 博士(情報科学)	専	准教授	ブ'タシキ ミウ'イト'ムト' (39) <令和3年4月> 博士(情報科学)	専	准教授	ブ'タシキ ミウ'イト'ムト' (40) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報セキュリティ特論 データサイエンス特論Ⅰ データサイエンス特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ データサイエンス特論演習			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報セキュリティ特論 データサイエンス特論Ⅰ データサイエンス特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ データサイエンス特論演習			情報通信工学総合演習Ⅰ 情報通信工学総合演習Ⅱ 情報通信工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 情報セキュリティ特論 データサイエンス特論Ⅰ データサイエンス特論Ⅱ データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ データサイエンス特論演習
専	准教授	霜鳥 慈岳 (43) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	霜鳥 慈岳 (43) <令和3年4月> 博士(工学)	専	准教授	霜鳥 慈岳 (44) <令和3年4月> 博士(工学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 有機材料特論Ⅱ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 有機材料特論Ⅱ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 有機材料特論Ⅱ





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	平井 慈人 (39) <令和3年4月> Ph.D(イギリス)	専	准教授	平井 慈人 (39) <令和3年4月> Ph.D(イギリス)	専	准教授	平井 慈人 (40) <令和3年4月> Ph.D(イギリス)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅴ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅴ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 物性科学特論Ⅴ
専	准教授	佐藤 利次 (61) <令和3年4月> 博士(農学)	専	教授	佐藤 利次 (61) <令和3年4月> 博士(農学)	専	教授	佐藤 利次 (62) <令和3年4月> 博士(農学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅳ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅳ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生命科学特論Ⅳ
専	准教授	菅野 亨 (61) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	菅野 亨 (61) <令和3年4月> 工学博士	専	教授	菅野 亨 (62) <令和3年4月> 工学博士
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅱ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅱ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅱ
専	准教授	宇都 正幸 (60) <令和3年4月> 理学博士	専	准教授	宇都 正幸 (60) <令和3年4月> 理学博士	専	准教授	宇都 正幸 (61) <令和3年4月> 理学博士
		応用化学工学総合演習Ⅱ 生物環境科学特論Ⅲ			応用化学工学総合演習Ⅱ 生物環境科学特論Ⅲ			応用化学工学総合演習Ⅱ 生物環境科学特論Ⅲ
専	准教授	服部 和幸 (52) <令和3年4月> 博士(理学)	専	准教授	服部 和幸 (52) <令和3年4月> 博士(理学)	専	准教授	服部 和幸 (53) <令和3年4月> 博士(理学)
		応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅳ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅳ			応用化学工学総合演習Ⅰ 応用化学工学総合演習Ⅱ 応用化学工学特別実験・研究 ユニバーサルコースプロジェクトⅠ ユニバーサルコースプロジェクトⅡ 学際工学特論 生物環境科学特論Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内島 典子 (47) <令和3年4月> 博士(工学) 研究・開発マネジメント学特論I 研究・開発マネジメント学特論II
専	准教授	鳴島 史之 (62) <令和3年4月> 教育学修士 総合英語
専	准教授	戸澤 隆広 (42) <令和3年4月> 博士(文学) 総合英語
専	准教授	阿曾 正浩 (61) <令和3年4月> 修士(法学) 人間学特論A
専	准教授	春木 有亮 (43) <令和3年4月> 博士(文学) 人間学特論C
専	准教授	山田 健二 (54) <令和3年4月> 博士(文学) 技術者倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	邱 泰瑛 (40) <令和3年4月> 博士(農学) 生命科学特論III
専	教授	内島 典子 (47) <令和3年4月> 博士(工学) 研究・開発マネジメント学特論I 研究・開発マネジメント学特論II
専	准教授	鳴島 史之 (62) <令和3年4月> 教育学修士 総合英語
専	教授	戸澤 隆広 (42) <令和3年4月> 博士(文学) 総合英語
専	准教授	阿曾 正浩 (61) <令和3年4月> 修士(法学) 人間学特論A
専	准教授	春木 有亮 (43) <令和3年4月> 博士(文学) 人間学特論C
専	准教授	山田 健二 (54) <令和3年4月> 博士(文学) 技術者倫理特論
専	准教授	青木 愛美 (30) <令和3年4月> 修士(文学) 総合英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	邱 泰瑛 (41) <令和3年4月> 博士(農学) 生命科学特論III
専	准教授	木場 隆之 (42) <令和4年4月> 博士(工学) 応用化学特別講義
専	准教授	陽川 憲 (41) <令和4年4月> 博士(工学) 応用化学特別講義
専	教授	内島 典子 (48) <令和3年4月> 博士(工学) 研究・開発マネジメント学特論I 研究・開発マネジメント学特論II
専	准教授	鳴島 史之 (63) <令和3年4月> 教育学修士 総合英語
専	教授	戸澤 隆広 (43) <令和3年4月> 博士(文学) 総合英語
専	准教授	阿曾 正浩 (62) <令和3年4月> 修士(法学) 人間学特論A
専	准教授	春木 有亮 (44) <令和3年4月> 博士(文学) 人間学特論C
専	准教授	山田 健二 (55) <令和3年4月> 博士(文学) 技術者倫理特論
専	准教授	青木 愛美 (31) <令和3年4月> 修士(文学) 総合英語
専	准教授	中里 浩介 (40) <令和4年4月> 博士(スポーツ科学) 人間学特論D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ボゼック・クリストファージョン (56) <令和4年4月> M.A.
		総合英語

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・井上真澄准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・駒井克昭准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・金敬鎬准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・佐藤利次准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・菅野亨准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・内島典子准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・戸澤隆宏准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・白井秀和准教授、就任により科目追加。</li><li>・邱泰瑛准教授、就任により科目追加。</li><li>・青木愛美准教授、就任により科目追加。</li></ul>
--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・佐藤満弘准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・吉田裕准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・橋本泰成准教授、自己都合退職のため辞任。</li><li>・河野義樹准教授、就任により科目追加。</li><li>・ラワンカル・アビジット准教授、就任により科目追加。</li><li>・宮森保紀准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・中村大准教授、教授昇任により職名変更。</li><li>・川尻峻三准教授、自己都合退職のため辞任。</li><li>・木田真人准教授、就任により科目追加。</li><li>・木場隆之准教授、就任により科目追加。</li><li>・陽川憲准教授、就任により科目追加。</li><li>・中里浩介准教授、就任により科目追加。</li><li>・ボゼック・クリストファーゾン准教授、就任により科目追加。</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
18 名	12 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
42	53	0	0	95	0	53	50	0	0	103	0
(49)	(49)	(0)	(0)	(98)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
77	7	11				87	5	11			
(78)	(11)	(9)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
53	50	0	0	103	0	53	50	0	0	103	0
[ 11 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 8 ]	[ 0 ]	[ 11 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 8 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
87	5	11				87	5	11			
[ 10 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]				[ 10 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、( ) 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{103}{95} = \boxed{108.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由			
		該当なし								
合計(D)						後任補充状況の集計(E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	橋本 泰成	R4.3	必修	機械電気工学総合演習Ⅱ	①	R4.3自己都合退職のため辞任(4)			
				選択	電気電子応用工学特論Ⅰ	①				
				選択	電気電子応用工学特論Ⅱ	①				
2	准教授	川尻 峻三	R4.3	必修	社会環境工学総合演習Ⅰ	①	R4.3自己都合退職のため辞任(4)			
				必修	社会環境工学総合演習Ⅱ	①				
				必修	社会環境工学特別実験・研究	①				
				必修	ユニバーサルコースプロジェクトⅠ	①				
				必修	ユニバーサルコースプロジェクトⅡ	①				
				選択	学際工学録論	①				
選択	地圏防災工学特論Ⅰ	①								
				選択	地圏防災工学特論Ⅱ	①				
合計(F)						後任補充状況の集計(G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)					後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{95} = 2.1\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2人

- (注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>担当科目は他の専任教員で担当するため支障はなく、当該プログラムで学生に周知している。                  今後の教員人事計画の中で後任補充等を検討していきたい。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時  (令和3年)	各専修プログラムが想定する規模に応じた教育研究が円滑に実施できるよう、工学専攻全体として、幅広く丁寧な学生募集と適切かつ公平な入学者選抜の実施に努めること。(助言事項)	改善事項  設置報告書別紙「設置の趣旨等を記載した書類、33ページ、9. 入学者選抜の概要、(1)入学者選抜の方法」の記載を踏まえ、専修プログラムごとの受入学生数の目安人数を募集要項に添付するとともに、志願書類において希望専修プログラムを明記させることにより助言事項を履行している。	履行済  履行状況に記載した内容を継続して実施する。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

### （1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### （2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学の教育理念に基づく教育の実践のため、教育方法の改善及び質的向上に係わる活動を行うことを目的に、令和2年4月1日に教育改善推進室を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教育改善推進室会議を3回開催し、延べ37人の教員が参加した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>留年生減少、FD、入学前教育、成績評価の偏り、オンライン講義等に関する事項の企画・立案・実施に関する総括等。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsの背景と概要</li> <li>・ SDGs達成に学術・大学はどう貢献できるか</li> <li>・ ダイバーシティ&amp;インクルージュー多様性の時代に求められる人材と企業戦略ー</li> <li>・ オンライン対面ハイブリット型・リモート学生実験の試み</li> <li>・ 三大学FD・SDワークショップ</li> <li>・ 「選ばれる、魅力的な大学へ。全学広報とブランドづくりについて」</li> <li>・ 「オンライン授業の学内最新事情」</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>「北見工業大学教育内容改善のための組織的研修要項」に基づき、学内及び学外講師による講演を実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年度は「a 実施内容」のとおり開催し、参加人数はそれぞれ32人、34人、74人、54人、37人、83人、94人であった。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>各教員において、教育内容改善に取り組んでいる。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>前期及び後期にそれぞれ実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>アンケート集計結果を教員に通知し、授業改善の参考としている。なお、学生には内容を抜粋して公開している。</p>
--

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育活動を計画通り実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年10月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和8年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。